

昭和40年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第4巻第2号

vol. 4 no. 2

物性研究

1965 | 5

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
 2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
 3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミクスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
 4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
 2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
 3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミクスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
 4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
 2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
 3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミクスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
 4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。
- 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

プレプリント案内

- A New Interpretation of N.M.R. in Dilute Ferromagnetic Alloys (G.A. Murray and W. Marshall)
- Magnetostriction, Forced Magnetostriction, and Anomalous Thermal Expansion in Ferromagnets (E. Callen and H.B. Callen)
- Conduction Electron Polarization in Metals (R.E. Watson and A.J. Freeman)

[以上 芳田研]

- The Effective Conduction Electron-Local Moment Exchange Interaction in Metals : Rare Earth Interband Mixing (R.E. Watson, S. Koide, M. Peter, and A.J. Freeman)

[以上 芳田研, 中嶋研]

ニュース

- 武藤 俊之助 氏 : 東大物性研を定年退官。原子力委員, 日本文理学部教授を兼任。
- 三宅 静雄 氏 : 東大物性研所長に就任。
- 中嶋 貞雄 氏 : 英国ケンブリッジ大学に7月末まで滞在の予定。
- 久米 潔 氏 : 東京都立大学助教授に昇任。
- 対馬 立郎 氏 : 電気試験所に移られる。
- 国府田 隆夫 氏 : 東大工学部助教授に昇任。
- 小島 英夫 氏 : 静岡大学講師に昇任。
- 三輪 浩 氏 : 英国オックスフォード大学より帰国された。
- 三宅 哲 氏 : 東工大助教授として3月1日より赴任。

掲 示 板

“Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics”

参加者募集

○かねてお知らせしましたような内容（物性研究 vol.4, no.1 (1965/4) 参照）で、Summer Institute を開きますので、参加者を募集致します。下記の要領でお申し込み下さい。

1. 記入事項 氏名，最終学歴，所属（大学院学生の場合は指導教官の氏名）
希望分科（I. 多体問題， II. 場の理論 の別。両者を希望されるときはその順位）

奨学金を希望するか否か。希望するときは

- A 旅費+滞在費（全額） B 旅費+ $\frac{1}{2}$ 滞在費
C 旅費

のどれを希望するか

2. 宛 先 東京都文京区大塚窪町24 東京教育大学 物理教室
福田 信之

3. 申し込み期日 昭和40年5月31日まで

今後の運営方法などについてなるべく多くの方の御意見を伺いたいと思いますので、手伝ってやろうと思われる方は、運営委員に立候補して下さい。

宛先，期日などは上記と同じです。

組織委員長 久保 亮 五

<< 基研 後期研究計画募集 >>

40年度の基研の後期研究計画を募集いたします。

1. 趣 旨

従来の短期及び長期研究計画やアトム型を始めとし、複数の研究機関の人が2人～数人、1ヶ所に長期間滞在して行う研究等もふくまれます。その他期間、方法については、各種の計画が考えられますが、例えば、素粒子論研究 Vol.26, No.5 を御覧下さい。

2. 必要書類

- (i) 研究テーマとその内容
- (ii) 代表者名
- (iii) 参加者数
- (iv) 必要な旅費
- (v) 必要な校費とその内訳 (賃金, 電子計算機使用料, その他)
- (vi) 研究場所

註. 後期研究計画に使われる旅費は、115万円、校費は90万円です。

3. 締 切 1965年 6月 5日(土) 必着

4. 宛 先 京都市左京区北白川追分町 京都大学 基礎物理学研究所
會我見 道 子

5. 選考機関 次期 研究部員会議

投稿規定を守ってください

プログレス原稿作製の際次の点を特に注意してくださるようお願いします。

1. 正副2通の内“正”は固い方の紙を使いホッチキスで綴じないで、クリップか紐で綴る。
2. Figure はすべて本文と別にして、一番後に添附する。(位置だけを文中に示す—これは絶対に忘れないこと—) Table は本文中に含める。ページの numbering は、本文と Table その他を含めたものとし、Figure のみ別にする。(Figure は一足先にトレースに出すから)
3. タイプ活字はできるだけ大きい方 (pica) で打つこと。(a, e, oなどのミスタイプがよく見逃がされる。眼の衛生上、等の理由で)

編 集 後 記

最近号に2つほど研究会についての若手の意見が掲載されました。
もっと多くの方々が常日頃いろいろと考えておられることと思います。どしどし
御意見をお寄せ下さい。

又、意見ばかりでなく本篇の投稿もお願いします。

物 性 研 究 第 4 卷 第 2 号

1965年5月20日発行(300円)

発 行 人 碓 井 恆 丸

印 刷 者 倉 本 作 雄
京都市左京区岡崎徳成町11

発 行 所 物 性 研 究 刊 行 会
電話(77) 8111 内線983
振 替 京 都 5312
京都市左京区北白川追分町
京都大家湯川記念館内

編 集 後 記

最近号に2つほど研究会についての若手の意見が掲載されました。
もっと多くの方々が常日頃いろいろと考えておられることと思います。どしどし
御意見をお寄せ下さい。

又、意見ばかりでなく本篇の投稿もお願いします。

物 性 研 究 第 4 卷 第 2 号

1965年5月20日発行(300円)

発 行 人 碓 井 恆 丸

印 刷 者 倉 本 作 雄
京都市左京区岡崎徳成町11

発 行 所 物 性 研 究 刊 行 会
電話(77) 8111 内線983
振 替 京 都 5312
京都市左京区北白川追分町
京都大家湯川記念館内

目 次

	ページ
誘電体に於ける Diagram Formulation.....金 吉 敬 人	99
(Spherical Model に関して)	
第一次相転移.....都 筑 卓 司	114
講義ノート	
統計力学 (VI).....久 保 亮 五	129
ひろば	
Tokyo Summer Institute について若手グループへ.....久 保 亮 五	143
プレプリント案内.....	148
ニュース.....	148
場 示 板.....	149
Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics 参加募集	
基研後期研究計画募集.....	150
プロGRESSよりのお願い.....	150
編集後記.....	150

目 次

	ページ
誘電体に於ける Diagram Formulation.....金 吉 敬 人	99
(Spherical Model に関して)	
第一次相転移.....都 筑 卓 司	114
講義ノート	
統計力学 (VI).....久 保 亮 五	129
ひろば	
Tokyo Summer Institute について若手グループへ.....久 保 亮 五	143
プレプリント案内.....	148
ニュース.....	148
場 示 板.....	149
Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics 参加募集	
基研後期研究計画募集.....	150
プロGRESSよりのお願い.....	150
編集後記.....	150